

八洲電機グループの体制



多数の経験豊富な有資格者が高品質なサービスを提供

八洲電機グループは、お客様の多様なニーズにお応えし、高品質なサービスを提供できるよう万全の体制を整えております。各種施工管理技士をはじめとした有資格者が多数在籍しております。

品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得しています。

●登録事業所:八洲電機(株) 中国支社
中国営業部
中国インフラ課
西日本エンジニアリング部
電機制御技術グループ
空調技術グループ

●登録事業所:八洲制御システム(株)
本社、本社工場、関西営業所、
中部事業所、中部事業所 板金工場

有資格者の状況(八洲電機)

資格者			登録		
建築士	1級	1名	一級建築士事務所	許可番号	東京都知事登録第61249号
技術士	電気・電子部門	1名		登録年月日	2021年12月5日
事業許可関連					
電気工事施工管理技士	1級 2級	146名 3名	特定建設業	建設業の種類	土木工事業、建築工事業、 とび・土工工事業、屋根工事業、 電気工事業、管工事業、 鋼構造物工事業、舗装工事業、 塗装工事業、防水工事業、 内装仕上工事業、機械器具設置工事業、 電気通信工事業、水道施設工事業
電気通信工事施工管理技士	1級	22名		許可番号	国土交通大臣許可(特-7) 第5842号
建築施工管理技士	1級	7名		許可年月日	2025年12月17日
土木施工管理技士	1級	11名	一般建設業	建設業の種類	消防施設工事業
管工事施工管理技士	1級 2級	46名 3名		許可番号	国土交通大臣許可(般-7) 第5842号
監理技術者	機械器具設置	15名		許可年月日	2025年12月17日
電気工事士	1種 2種	26名 38名	電気工事業	通知番号	経済産業大臣み通第22001号
電気主任技術者	1種 3種	1名 9名		通知年月日	2010年1月13日
特種電気工事資格者	非常用予備発電装置	11名		届出番号	東京都知事29環改保高第6508号
自家発電設備専門技術者	据付工事部門	13名	高圧ガス販売事業届	届出年月日	2017年6月20日
危険物取扱者	甲種 乙種 丙種	2名 20名 3名	(2026年4月1日現在)		
消防設備士	甲種 乙種	7名 5名			



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を採用しています。



VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用しています。



環境対応型インキである「植物油インキ」を使用しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お問い合わせ先

八洲電機株式会社
〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
TEL: 03-3507-3711 FAX: 03-3507-3999
<https://www.yashimadenki.co.jp/>



創立80周年
特設サイト
<https://www.yashimadenki.co.jp/80campaign/>



八洲電機グループ
コーポレートレポート
2026



代表取締役社長 兼 グループCOO

清宮 茂樹



「地球環境保全」と「持続可能な社会」への貢献を通じて、 企業としての社会的責任を果たしてまいります。

当社グループは、「信・愛・和」の経営理念のもと、エンジニアリング力を活かし、お客様の多様なニーズに対応した製品・システム・サービスを提供する等、事業活動を通じた社会への貢献をはじめ、持続可能な社会の構築に向けた活動を推進しております。

2025年度を振り返りますと、日本経済は、新政権の発足や政策金利の引き上げ等、政治・金融面での変化が見られる中、企業業績を背景に老朽設備の更新や生産能力増強に加え、デジタル化・脱炭素化・省力化対応に向けた設備投資が堅調に推移しました。一方で、資材価格や人件費の上昇を背景とした物価高の影響により、景気の先行きには依然として不透明感が残ります。

そのような状況下、当社グループでは、連結経営の強化を図るとともに、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」のコア技術の進化を進める等、事業基盤の強化と提供価値の向上に取り組んでまいりました。

また、2026年度は、「創立80周年」という大きな節目を迎える重要な一年であるとともに、新たな3カ年中期経営計画「Happiness2028」のスタートの年となります。本計画では、「ハピネスから、ビジネスを。」をスローガンに掲げ、社員の幸せが原動力となる循環型成長の実現を目指し、人的資本の強化やデジタル活用の推進、グループ連携の深化に取り組んでまいります。

今後も当社グループは、事業活動をはじめ、環境分野における技術支援や地域貢献活動等、社会への貢献に向けた活動を推進し、持続可能な未来の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社員と社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社員と社会に愛される会社」

和は、「社員が協力・協調し、社会に貢献する会社」

経営ビジョン

クオリティの高いエンジニアリング力を通じ
社会に貢献するエクセレントカンパニーとして
サステナブルな未来を創造する

Contents

01	イントロダクシヨN／トッPメッセーJ	17	主要グループ会社紹介
03	八洲電機80年のあゆみ	19	サステナビリティ／環境活動報告
05	ビジネススタイル	21	人財への取り組み
07	中期経営計画	23	健康経営の取り組み
08	事業概要	24	コーポレート・ガバナンス
11	八洲ブランド ～3 コア技術～	25	財務・非財務ハイライト
13	事業紹介	裏表紙	八洲電機グループの体制

社会と産業の変化を支え続けた80年

1946年8月8日、戦後間もない神田須田町で創業した八洲電機は、経営理念である「信・愛・和」電機機器販売を起点に事業を拡大してきました。

以来、時代とともに変化する社会課題や産業ニーズに向き合い、商社機能とエンジニアリング

の精神を受け継ぎながら、日立の特約店として、産業インフラを支える

力を進化させながら、持続的な成長と価値創造を実現してきました。

1. 1946 - 1963

創業・基盤構築期

信頼と現場力を原点に

戦後復興期に創業し、産業インフラを支えるための機器・資材の供給を通じて事業を開始。現場に密着し、確実に役割を果たす姿勢を大切にしながら、事業の基盤と信頼関係を築きました。



創業の地、神田須田町の八洲電機商会



日立ポンプ・圧縮機特約店看板

2. 1964 - 2003

成長・商社機能確立期

取扱力と調達力による事業拡大

高度成長期から安定成長期にかけ、社会・産業の発展とともに取扱製品・領域を拡大。商社としての調達力を基盤に、現場対応力を磨き、多様なニーズに応える事業基盤を確立しました。



第一回「八洲日立OA展'90」



技術・実技試験勉強会を開催

3. 2004 - 2012

技術商社への転換期

大成電機との合併を起点とした進化

2004年、大成電機との合併を契機に、機器販売から、技術と提案力を強化し、エンジニアリング力を軸とした「総合電機技術商社」へと大きく舵を切りました。エンジニアリング機能を向上させ、事業構造改革と新たな経営基盤を確立しました。



大成電機株式会社と合併結団式



2009年 東京証券取引所 第二部上場

4. 2013 - 現在

事業変革・価値創出期

経営主導による変革と高度化

2013年の現太田会長の社長就任以降、事業構造や提供価値の変革を本格化。DX、省エネルギー、安定操業、安全性確保など、より複雑化するお客様の経営課題に向き合い、商社機能とエンジニアリング力を融合し、課題解決に資するソリューションエンジニアリングを進化させています。



新本社ビル竣工



2022年 八洲ブランド 3つのコア技術の確立

The Power of YASHIMA

ビジネス スタイル

当社は、エンジニアリングで社会インフラに携わるお客様の経営課題解決に貢献します。経営課題を把握し解決するために、営業とエンジニアが連携し、八洲の強みを活かしながら、コア技術・エンジニアリングフロー・コーポレートインで、お客様の環境・省エネ・高効率化等の多様なニーズにお応えします。

当社のエンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

エンジニアリングでお客様の**経営課題**を解決します！



八洲電機グループの強み

1. 高いエンジニアリング力

当社は、3つのコア技術と、お客様の事業所内にエンジニアを常駐させる「コーポレートイン」で高いエンジニアリング力を実現しています。お客様のニーズや問題点を迅速に把握し、適切な解決策を提供することができます。

2. マルチベンダー

マルチベンダーとして様々なメーカーの製品も取扱っています。日立最大の特約店として日立製品の販売はもちろんのこと、エンジニアリング力を活かして様々なメーカーの製品を取扱い、お客様に最適なソリューションを提供しています。

3. 顧客基盤の強さ

日本を代表する優良な顧客と継続的取引を行い、その分野も多岐にわたります。創業から培ってきた信頼関係と丁寧な対応で顧客満足度の高いサービスを提供しています。強い顧客基盤により安定的な経営を実現しています。

八洲の強み

4. グループ連携によるトータルソリューション

八洲電機グループは、プレエンジニアリングから保守サービスまで一貫したソリューションをグループ一体で提供しています。

コーポレートイン

専門技術者を常駐させ、お客様目線で最適なソリューションを提供します。

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。

これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現します。

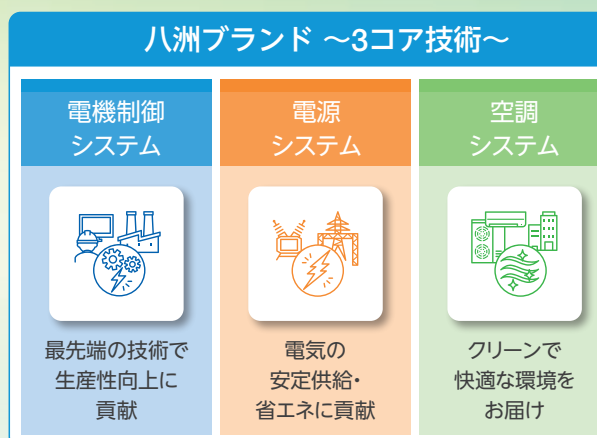


コア技術

3つのコア技術で、お客様の多様なニーズにお応えします。

「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術を八洲ブランドとして確立し、「安全」「安心」等を社会に提供します。

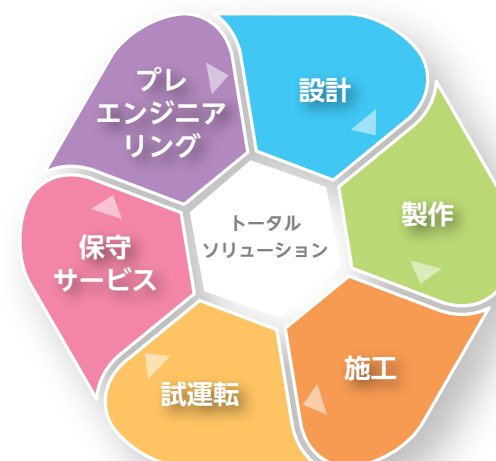
さらに、コア技術を技術ソリューション力で進化・融合し、最適なソリューションを提供します。



エンジニアリングフロー

様々な産業のお客様に一貫したサービスを提供します。

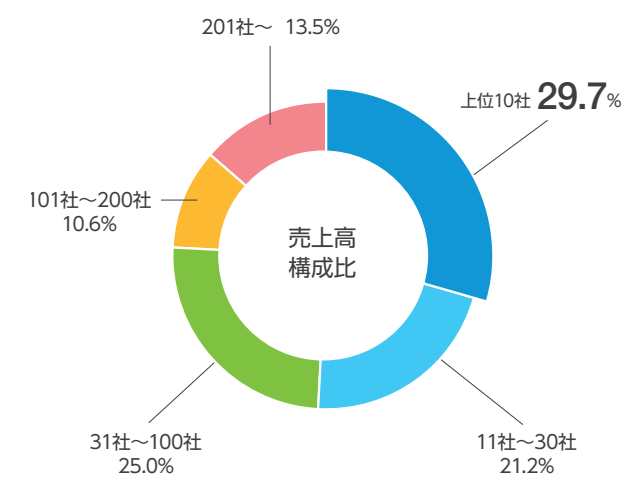
製品を販売するだけでなく、コア技術とともに、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。



お客様基盤

鉄鋼、エネルギー、化学、公共、鉄道等のお客様と取引をしています。

創業以来、実績と信用を積み重ね、多数の企業のお客様と継続的な取引をしております。



「Happiness2028 中期経営計画」 (2026～2028年度)について

当社グループは、2026～2028年度(2027年3月期から2029年3月期まで)の事業運営の指針となる中期経営計画を策定し、以下の通り取組んでおります。

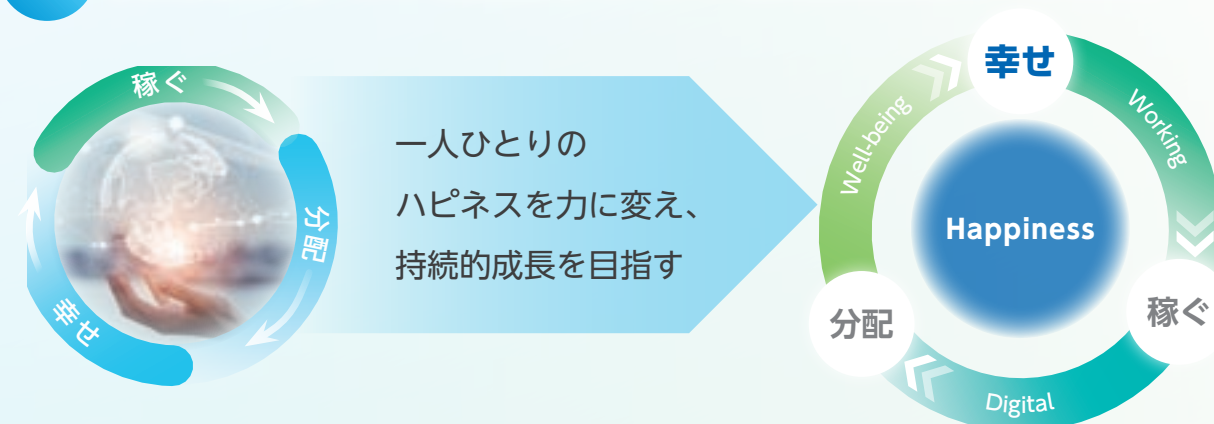
ハピネスから、ビジネスを。

Well-beingとDXで、成長の循環を創造する。

私たちが見据えるのは、社員の幸せとビジネスが高め合う、
新たな企業成長のカタチです。

Well-being経営を通じて、一人ひとりの働く幸せを挑戦の力へ。
DXとコア技術の融合により、価値創造の循環を加速させていきます。

基本方針 「社員の幸せが原動力となる循環型成長の実現」



目指すもの

社員一人ひとりが「八洲で働くことを好きになり、誇りを持つ」
—成長を実感でき、仲間とともに未来を創っていける職場—
マインドを変革し、デジタルを活用したコア技術とDXにより業績向上を目指す

戦略の柱

経営理念である「信・愛・和」の精神を
受け継ぎ、3つの柱を推進

ウェル
ビーイング **信**

DX戦略 **愛**

グループ
シナジー **和**

2028年度 数値目標

売上高 850億円 / 経常利益 95億円 / 経常利益率 11.2%

プラント事業 Plant Business

プラント第一ビジネスユニット

鉄鋼・非鉄金属等のプラント分野
にエンジニアリングで
貢献

執行役員
プラント第一ビジネスユニット長
兼 プラントエンジニアリング第三本部長
高橋 紀人

プラント第二ビジネスユニット

石油・化学プラントや医薬品、
精密機器製造工場に幅広い
ソリューションを提供

執行役員
プラント第二ビジネスユニット長
惟任 久史

事業内容

鉄鋼・非鉄金属分野の製造ラインにおける電源システム・PLCシステム^{※1}・ドライブシステム^{※2}を柱とした各種電機制御システムの構築を行っています。お客様のカーボンニュートラル、GX・DX等の経営課題に「業界に特化した」高いエンジニアリングで貢献します。

※1 Programmable Logic Controllerの略。製造設備の動作を制御するシステム
※2 周波数や電圧を変化してモーターの回転数や速度を制御するシステム

事業分野 鉄鋼・非鉄金属

主要取扱製品・サービス

電機制御、受変電設備、プロセス冷熱・空調、無線伝送システム、省エネ・環境技術を活用したグリーン製品、設備管理システム、AI活用システム(監視カメラ・予兆診断等)、保守・メンテナンス

ポイント

1

お客様に最適なソリューションをマルチベンダーで提供

2

お客様の施設に常駐するコーポレートインで提案から設計製作・保守まで対応

3

カーボンニュートラル・DX推進の取組みをエンジニアリング力で支援

事業内容

エネルギー・産業分野のお客様の多様な課題に対して、グループ横断的な「One Yashima」のエンジニアリング力により、高い付加価値を提供しています。マルチベンダーとして最適なソリューションをご提案し、お客様のエネルギーソリューションや安定・高効率な操業及び省力化を実現します。

事業分野 石油・化学、ガス・製薬、精密機器工場

主要取扱製品・サービス

発電設備、受変電設備、プロセス冷熱・空調、各種生産設備・設備管理システム、エネルギーソリューション、情報通信、工作機械、保守・メンテナンス

ポイント

1

プレエンジニアリングから保守までのトータルソリューション

2

お客様を深く理解したチームによる高付加価値な協働体制

3

多様なデジタル情報を活用した現場DXの実現

業績推移(2025年度)

売上高

26,341 百万円

前年比
4.9%
増

営業利益

5,014 百万円

前年比
17.9%
増

売上高構成比

35.3%



公共・設備事業 Public and Facility Business

公共・建設・データセンター事業等で社会インフラの発展に貢献

常務執行役員
インフラシステムビジネスユニット長
森本 憲司

事業内容

長年にわたり培ったエンジニアリング力で公共施設の安定稼働を支え続けるとともに、空調設備や電源設備でビル・オフィス・工場等の快適で信頼性の高い空間を実現しています。デジタル社会の発展により、需要が高まっているデータセンター分野にも冷却ソリューションを含めて提供しており、持続可能で豊かな社会づくりに貢献します。

事業分野 官公庁（空港他）、自治体（上下水道）、ビル・オフィス・工場、ゼネコン・サブコン、データセンター

主要取扱製品・サービス

受変電設備、監視制御システム、上下水道システム、空調設備、無停電電源装置・非常用発電設備、データセンター用空調・冷却システム、サーバー用液冷ソリューション、エレベーター、照明機器、保守・メンテナンス

ポイント

1

公共インフラの安定稼働を長年にわたり
支え続けてきた経験と実績

2

お客様に最適なソリューションを
マルチベンダーで提供

3

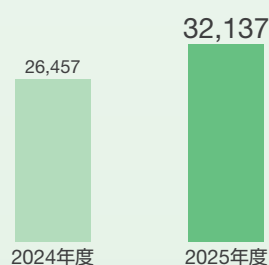
機器の販売・施工から保守
まで自社グループで完結する
ワンストップ型ビジネスモデル

業績推移 (2025年度)

売上高

32,137 百万円

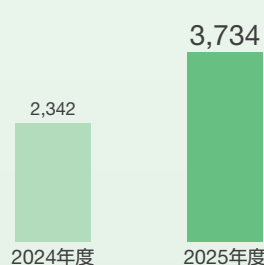
前年比
21.5%
増



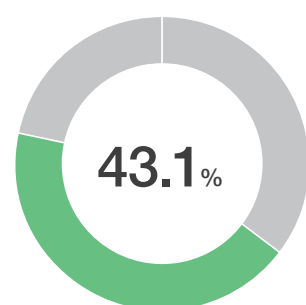
営業利益

3,734 百万円

前年比
59.4%
増



売上高構成比



交通事業 Transportation Business

鉄道業界の「車両」「変電」「情報通信」「機械設備」分野にエンジニアリング力で貢献

執行役員
交通システムビジネスユニット長
新 健一郎

事業内容

鉄道業界の「車両」「変電」「情報通信」「機械設備」分野にエンジニアリング力で貢献。鉄道の安全・安定輸送を支えるとともに、お客様が抱える経営課題の解決につながる「付加価値の高い最適なソリューション」を提供しています。そしてお客様のさらなる成長につながる事業展開へ、最新技術の活用により貢献します。

事業分野 車両、変電、情報通信、機械設備

主要取扱製品・サービス

車両及び車両電気品、車両改造、受変電設備、非常用発電設備、信号システム、空調設備、車両基地設備、運行情報配信システム、分岐装置、保守・メンテナンス

ポイント

1

首都圏を中心に鉄道事業者様への
豊富な施工実績・納入実績による信頼

2

多様なニーズに対応可能な
専門技術者を多数有し
高度かつ専門技術の提供

3

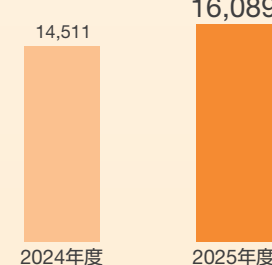
デジタルを活用した
最新技術の導入により
鉄道事業者様のDX実現に貢献

業績推移 (2025年度)

売上高

16,089 百万円

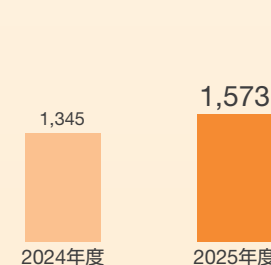
前年比
10.9%
増



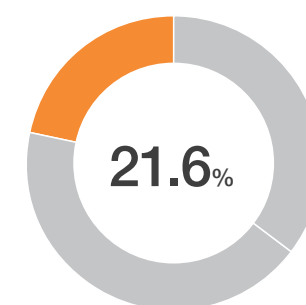
営業利益

1,573 百万円

前年比
17.0%
増



売上高構成比



安全と安心をソリューションで提供する 八洲電機グループのコア技術

社会インフラを支える現場で培ってきた技術力を基盤に3つのコア技術に、デジタル技術を融合し、時代の変化に対応しながら進化を続けます。



電機制御システム

プラント設備における制御システムや、計測・監視制御など幅広い分野に対応し、設備の安全性・生産性向上に貢献しています。

八洲の強み

- ① 制御プログラムの自社設計、制御盤をグループ会社で製作できる技術力
- ② 汎用品の最適な組合せによる八洲オリジナルシステムの提供
- ③ 基本設計からソフト・ハードの詳細設計、試運転までワンストップで対応

ビジネス フィールド

鉄鋼・非鉄金属・エネルギー・化学のプラント設備、公共水道施設、一般産業分野 等

システム 技術

様々な分野に対し、PLC^{*}、オープンネットワーク、ドライブ技術などの組合せによる最適なソリューション 等
※PLC:Programmable Logic Controllerの略、制御装置



電源システム

特別高圧から高圧、低圧まで電源システムのトータルエンジニアリングを提供し、電源の安定供給、カーボンニュートラルに貢献しています。

八洲の強み

- ① 計画設計から施工までのEPC^{*}による一括対応
- ② 様々なメーカーと連携したマルチベンダーシステム
- ③ 設備の安定稼働を支える電源保守サービス

※E = 設計 (Engineering)、P = 調達 (Procurement)、C = 建設 (Construction) の頭文字をとった略称

ビジネス フィールド

鉄鋼・非鉄金属・エネルギー・化学のプラント設備、医療品等の工場、鉄道施設、公共水道施設、オフィスビル、商業施設 等

システム 技術

特高・高圧受変電設備、配電設備、自家発電設備、鉄道直流変電設備、無停電電源装置、再生可能エネルギー、電力監視制御システム 等



空調システム

ビル・工場の一般空調からデータセンターや医療・研究施設の特殊空調まで幅広く提供し、様々なニーズに応じた最適な環境構築に貢献しています。

八洲の強み

- ① 一般空調から特殊空調まで、幅広い領域に対応した空調システム
- ② 監視制御を付加した空調ソリューション
- ③ 国内及び海外製メーカーもメンテナンス可能な保守サービス

ビジネス フィールド

病院・介護施設、大学・研究施設、工場、データセンター、オフィスビル、商業施設、鉄道施設 等

システム 技術

一般空調設備、冷蔵・冷凍室の低温設備、クリーンルーム、バイオハザード対策施設等の特殊空調設備、冷熱源設備、圧縮空気設備、データセンター用高顕熱空調設備、工場製造ラインの冷熱設備 等



常務執行役員 CTO
エンジニアリング統括本部長

三好 博文

エンジニアリング会社として
社会的責任を果たしてまいります。

八洲電機グループは、社会インフラに携わるお客様の経営課題を的確に捉え、付加価値の高いエンジニアリング力とサービスの提供を通じて、安全・安心・快適な環境の構築や、カーボンニュートラル、高効率化などの多様なニーズにお応えしてきました。エンジニアリングから設計・製作・施工・試運転・保守サービスまでを一貫して提供することで、社会インフラの高度化を支え、「持続可能な社会」の実現に貢献しています。

さらに、これからは、現場で培ってきたコア技術を深化させるとともに、デジタル技術を付加することで、「コア技術2.0」に進化させ、より安全で効率的、かつ高度な設備運用を支えるエンジニアリングの実現を目指してまいります。

エンジニアリング事業にかかる責任者として、技術水準の向上に継続的に取り組むとともに、社会や技術の変化を的確に捉えながら、変化し続けるお客様のニーズにお応えし、社会インフラの発展と「持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。



上席技監
エンジニアリング統括本部
兼 技術第二本部長

杉浦 仁浩

3つのコア技術でお客様の
多様なニーズにお応えしています。

エンジニアリング統括本部は、八洲ブランドである3つのコア技術を活かし、プラント、公共・設備、交通分野において、設備の安全性・生産性向上を実現するソリューションエンジニアリングを提供しています。

これまで培ってきた技術・ノウハウと、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」それぞれの強みを基盤に、デジタル技術の活用を一層進めることで、設備全体の可視化や制御の高度化、安全性向上、省人化といった新たな価値の創出に取り組んでまいります。

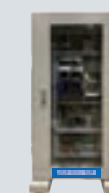
今後もコア技術の深化と成長を図りながら、お客様の多様な経営課題の解決に貢献してまいります。

八洲ブランド 制御盤

YASHIMAX

長年にわたって蓄積した設計・製作のノウハウと豊富な実績を基に、
多様な業界のニーズに的確に応える制御盤ブランド ※商標登録出願中

標準デジタル伝送盤



水道施設等のDX化を実現する
デジタル伝送盤

水道設備の情報をプラットフォームに
集約・伝送することで、監視・制御の
一元化に貢献します。

デジタル配電盤



現場のスマート化を加速する
次世代配電盤

伝送・コネクタブロック
端子台により、現場工期の
短縮を実現します。

プラント事業 Plant Business



2TBM(2タンデムブレイクダウンミル)

老朽化した基幹設備を更新し、安定操業と生産効率の向上に貢献

素材メーカーの製造現場では、24時間操業を前提に高度な保安全管理が求められます。

DOWAメタル株式会社様の案件では、老朽化が進む圧延設備等の更新にあたり、一括発注から工事全体の取りまとめまでを担当し、安定的かつ効率的な操業体制の構築に寄与しました。

▶ 導入事例のご紹介 DOWAメタル株式会社様

DOWAメタル株式会社
技術部 担当者一同

製造の要である圧延機が老朽化

当社は非鉄金属加工を手がけ、自動車部品材料等を製造しています。今回更新した「2TBM」は、直列に配置した2基の圧延機で母材を加工しやすい形状へ整える工程を担う、全製品の前工程となる最重要基幹設備です。

導入から30年以上が経過し、老朽化に加えてメーカー側で部品の製造が中止となったことを受け、更新を決断しました。

更新にあたっては、直流モーターを交流モーターへ置き換える「AC化」に加え、製造状況をデータで管理できるコントロール制御システムを新たに搭載し、整備性の向上やエラー検知の強化を図りました。これにより、より安定的で効率的な操業を実現する体制構築を目指しました。

ノートラブルで21日間の更新工事を実現

メーカーが工事周辺業務から撤退し、任せられる先が

ない状況の中で手を挙げてくださったのが八洲電機さんでした。初めての取引ではありましたが、電気・機械メーカーや工事業者等への一括発注を含め、工事全体をしっかりと取りまとめていただきました。

24時間操業の製造現場にとっては、設備の停止期間をいかに短くできるかが重要です。過去の設備補修では最長7日間の工期でしたが、今回は事前の相談を重ねた上で、21日間をお願いすることにしました。しかしながら、これまでにない長期停止となるため、大きなリスクも伴いました。

このような状況下で、緻密なスケジュール設定と進捗管理に加え、当社の業務特性を理解したうえでの丁寧で納得感のある説明、さらにメーカーとの柔軟な調整等、八洲電機さんが橋渡し役となって対応していただいたことで、工事はトラブルなくスムーズに進行しました。結果として予定通りに完了し、無事に操業を再開することができました。

グローバル化や環境負荷低減への後押しを期待

自動車産業等に不可欠な部品材料の供給を担う当社にとって、安定的で高品質なモノづくりを継続することは社会的使命です。また、台頭する海外企業との競争に品質・コストの両面で勝ち抜く必要があり、その取組みの一環として、当社がマザー工場として海外グループ拠点と連携することも視野に入れています。

さらに、循環型社会の実現を目指すDOWAグループの一員として、環境負荷の低減にも取り組んでいきたいと考えています。こうしたさまざまな課題に向けて八洲電機さんから引き続きご提案をいただきながら、今後も協働をお願いしたいと思います。

公共・設備事業 Public and Facility Business



デル・テクノロジーズ カスタマーソリューションセンター

急拡大する水冷サーバー市場で不可欠なパートナー

生成AI技術の進歩に伴い、世界で急速に水冷サーバーが普及しています。

デル・テクノロジーズ様が国内で初めて導入した水冷サーバー案件において、八洲電機は直接液冷システムの販売から据え付け・試運転・保守サービスまでを一括してサポートしました。

▶ 導入事例のご紹介 デル・テクノロジーズ株式会社様

デル・テクノロジーズ株式会社
(右から)
執行役員
インフラストラクチャー・ソリューションズ営業統括本部
製品本部 本部長 上原 宏 様
インフラストラクチャー・ソリューションズ営業統括本部
製品本部 システム周辺機器部 シニア プロダクトマネージャ 水口 浩之 様

世界で普及が進む水冷サーバー

デル・テクノロジーズは1984年創業の世界トップレベルのITソリューションプロバイダーで、データセンター向けインフラ事業では世界No.1の売上実績を誇ります。近年は生成AIの普及により高性能半導体(GPU)の発熱量が増え、空冷システムだけでは対応が困難になりつつあります。そのため、サーバーを液体で直接冷却する直接液冷システム(DLC)が世界的に広がりつつあります。当社は2025年を日本の「水冷元年」と位置づけ、大手国内企業に国内初となる水冷サーバーを導入しました。この取組みを支えた重要なビジネスパートナーが八洲電機さんです。

水冷サーバーの設置・稼働を支える 高度なエンジニアリング力

水冷サーバーの導入には、ビル設備と水循環を適切に制御する高度なノウハウが求められます。当社はこれまでソフトウェアのパートナーをはじめ、多くのITテクノロジーパートナーと連携してきましたが、水冷サーバーの設置に不可欠な建設・設備事業者との接点は多くありませんでした。八洲電機さんは空調・電気・通信等、幅広い設備の施工・保守実績に加え、ITや建築法にも精通しています。今回、DLC研修を受講したうえで、IT事業者と建設・施設事業者の双方に注意点を共有し、エンドユーザーの質問にも対応いただくなど、「橋渡し役」として高いエンジニアリング力を発揮いただきました。その結果、国内初的水冷サーバーを安全に稼働させることができました。また、データセンターの重要性を理解し、24時間365日の保守体制を整えていただいた点にも感謝しています。

広がる水冷サーバー市場に協働体制で対応

今後、GPUに対応する水冷サーバー市場は一層の拡大が見込まれます。熱伝導率の高い水を用いる水冷サーバーは、従来の空調機器より消費電力を抑えられる省エネ効果も期待できます。IT業者と建設・施設事業者をつなぐ八洲電機さんのエンジニアリング力は他社にはない強みであり、市場の成長に対応するうえで欠かせない存在です。市場拡大に対応するうえでも、今後も当社と協働して取組みを進めていただきたいと考えています。

交通事業 Transportation Business



電力管理・運行管理制御システム

基幹制御システムを更新・維持し、安全・安心な鉄道運営を支援

東葉高速鉄道株式会社様は、千葉県船橋市・八千代市を都心と結び、安全・安心で安定した輸送サービスの提供を通じて地域の発展に大きく寄与するとともに、地域の足として重要な役割を果たしています。今回の制御システム更新工事において、八洲電機は電力管理・運行管理システムの新設を含む機器の一括発注を受注し、工事全体の取りまとめを担当しました。

▶ 導入事例のご紹介 東葉高速鉄道株式会社様



東葉高速鉄道株式会社
(右から)
運輸施設部 電気課 課長補佐 大竹 弘人 様
運輸施設部 電気課 課長補佐 加藤 慎也 様

知見を活かした対応力で、計画どおりの切り替えを実現

今回の更新では、八洲電機さんにご担当いただいた列車運行管理システム(PTC)の更新と並行して、信号を地上から車上に移管するCS-ATC[※]化工事も進めました。PTCは多様なインターフェースと連携するため、信号システム会社との調整も含めて対応いただきました。また、運転士への研修のため、金曜・土曜の夜の約2時間という限られた時間帯で40回以上のPTC試運転に立ち会っていただきました。さらに、部材調達の長納期化が深刻な状況でも、八洲電機さんの綿密かつ柔軟な工程管理により工事を前倒して対応し、予定どおり2025年3月にシステムを切り替えることができました。技術や業界動向への深い知見、関係各所との調整力、状況に応じた判断力と対応力が、八洲電機さんの大きな強みだと感じています。

※Cab Signal Automatic Train Control の略。
信号情報を車内に伝送し、列車の速度制御や停止位置を自動で管理する保安装置。

制御システムの老朽化に伴い更新を決定

当社の電力・運行制御システムは、前回の更新から15年以上経過しており更新の必要性を感じていました。折しも旧指令所の耐震性を強化する必要性もあったことから、システム更新と指令所の移転を決定しました。八洲電機さんは、システム機器メーカーとの強固な協力関係や当社システムの長年にわたる保守実績、大手鉄道会社での豊富なプロジェクト経験があったことから、機器の一括発注と工事全体の取りまとめを担っていただくことになりました。

安定輸送を支える施設保安へのさらなる協働に期待

当社において安定した鉄道輸送の提供は最も重要な使命です。今回の更新工事を通じたデジタル化やネットワーク化は、業務効率化だけでなく、施設保安におけるリスク低減にもつながりました。今後は、ふなばしメディカルタウン構想に基づく新駅(海老川新駅〈仮称〉)の開業という大きなプロジェクトも控えています。八洲電機さんには、鉄道事業への深い知見を活かし、新駅を含めたシステムの安定稼働に向け、引き続きご提案と協働をお願いしたいと考えています。

公共・設備事業 Public and Facility Business

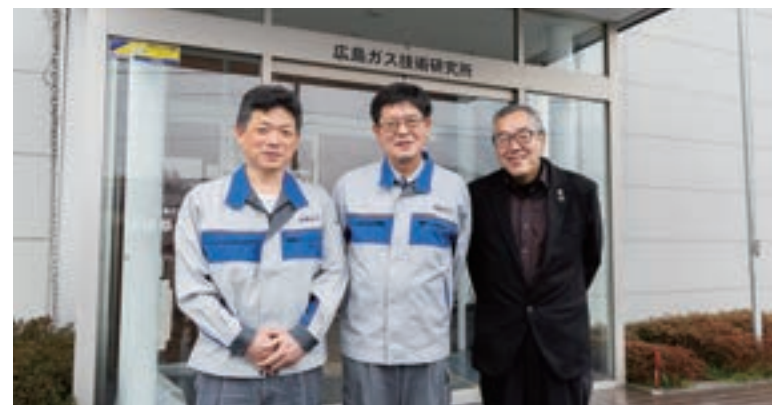


移動式ガス圧縮設備「エコウィング」

ガス供給に伴う環境負荷を低減し、地場企業としてモノづくりを支援

広島ガス株式会社様は広島県内7市を含む41万8千戸に、化石燃料の中で環境負荷が最も小さい天然ガスを供給しています。八洲制御システム株式会社は、同社が開発した移動式ガス圧縮設備「エコウィング」における電気計装システムの設計・開発を担当しました。

▶ 導入事例のご紹介 広島ガス株式会社様



広島ガス株式会社
技術研究所
所長 小本 靖彦 様(右)
担当課長 研究員 小松 朋弘 様(左)
専任課長代理 研究員 今田 直登 様(中央)

その際、制御盤メーカーとしての実績を有し、広島市内に本社・工場を構える八洲制御システムさんを知り、2024年6月に地場企業としてモノづくりを共に進めたいと正式に参画を依頼しました。

提案力と対応力で完成した「エコウィング」

「エコウィング」の開発では設備の小型・軽量化、送出ガス温度の抑制、軸漏れ対策、安全性確保など、多様な技術課題が存在しました。八洲制御システムさんは、試作後も追加要望に対し迅速に対応し、時には「安全のために変更したい」と安全性向上のための提案も行うなど、真摯な姿勢で開発を推進していただきました。2025年末に稼働した同設備はDX技術を活用したタブレット操作により、誰でも扱いやすいシステムへと進化し、現場からも高い評価を得ています。

環境課題を解決するパートナーとして八洲制御システムを選択

都市ガス供給の現場では、各家庭等に供給する減圧作業の際に、一定量のガスが放散されるという課題があります。都市ガス(メタン)は温暖化係数がCO₂の25倍と高く、SDGsの観点からも放散抑制が求められていました。加えて使用していた大型パージ車が老朽化していたこともあり、当社は2023年より移動式ガス圧縮設備「エコウィング」の開発に着手しました。しかし途中で既存の電気計装システムのパートナー企業が撤退し、代替先の選定が急務となりました。

全国の課題解決に貢献すべく継続的な協働を期待

現在、「エコウィング」1号機にはガス発電機車との一体化など新たな要望も寄せられています。さらに蓄電池の活用や全国のガス会社のニーズも取り込みながら、社会課題の解決につながる改良を進めたいと考えています。多様な業界で知見・ノウハウを持つ八洲制御システムさんには、今後も不可欠なパートナーとしてともに歩むことを期待しています。

グループ会社とともに 最適なソリューションを提供します。

八洲制御システム株式会社

ものづくり

自社一貫体制を整えた制御盤専門メーカー

● 事業内容・特徴

広島本社工場、愛知県中部事業所を製造拠点とし、東京・関西に営業所を展開しています。空調・水処理・プラントシステム・鉄道など幅広い分野において、制御盤の設計・製作・塗装・組立・検査まで自社一貫体制に加え、監視システムやPLCソフト製作にも対応し、高品質かつ柔軟なトータルソリューションを提供します。

● 主要製品・サービス

空調制御盤、水処理制御盤、動力制御盤、INV盤、PLC盤、計装盤、中央監視装置 等



本社工場



制御盤製作

八洲産機システム株式会社

販売

産業電機機器の販売・保守メンテナンス・工事

● 事業内容・特徴

日立製品を中心に、モーター・インバーター・空気圧縮機・制御機器など、環境や省エネに配慮した産業電機機器及びシステムの販売・保守・メンテナンス・工事を提供します。

● 主要製品・サービス

モーター・インバーター、ACサーボ・PLC、空気圧縮機、特別高圧（特高）受変電設備、変圧器、配電監視システム、ホイス・クレーン、インクジェットプリンター 等



産業電機機器製品

八洲冷熱株式会社

施工

快適で安全な環境づくりを実現する総合設備ソリューション

● 事業内容・特徴

50年来培ってきた空調・給排水衛生・冷凍・冷蔵分野の専門技術を活かし、快適で高品質な空間づくりと、最適な社会インフラの構築を支える総合設備エンジニアリング企業です。

● 主要製品・サービス

ビル・工場の一般空調設備をはじめ、大学・研究施設、医薬・バイオ・食品分野に対応した特殊空調設備において、設計・施工・メンテナンスを一貫して担うトータルエンジニアリング



空調設備機器



空調ダクト設備工事

八洲プラント建設株式会社

施工

受配電設備、各種プラント設備の企画設計・施工

● 事業内容・特徴

特別高圧から高圧・低圧までの電気設備及びプラント設備工事を中心に、60年以上にわたり培ってきた豊富な施工実績と高品質な施工技術、現場力を強みに、産業インフラを支えるエンジニアリング企業です。

● 主要製品・サービス

電力・鉄道・公共（上下水道・空港・高速道路）をはじめ、鉄鋼・非鉄、石油、化学、医薬、一般産業分野における特別高圧・高圧受配電設備の設計・施工



受変電設備



機器搬入作業



電機制御システム



電源システム



空調システム

東京キデン株式会社

ものづくり/レンタル

受配電設備の製造・販売、及び仮設設備・発電機などの電気機器レンタル

● 事業内容・特徴

自社の山梨工場において、電気設備機器の現場ニーズに応じた柔軟な設計・製造を行うとともに、電力設備や発電機など豊富な製品ラインナップを活かした電気機器レンタルを通じて、多様な現場における電源供給に貢献します。

● 主要製品・サービス

高圧受配電設備、配電盤、制御盤等の設計・製造
高圧受配電設備、変圧器、開閉器、分電盤、発電機等の電気設備、建設機械のレンタル



高圧受配電設備



山梨工場

八洲ファシリティサービス株式会社

保守サービス

空調・産業機器の保守メンテナンスサービス

● 事業内容・特徴

空調設備から産業設備まで、豊富な現場経験と関東エリアのサービスセンターを活かしたサービス体制で、定期メンテナンスから緊急作業まで迅速に対応し、設備の安定稼働に貢献します。

● 主要製品・サービス

海外製品を含むデータセンター向け冷却設備、一般空調からクリーンルームなどの特殊空調、空気圧縮機設備等の保守メンテナンスサービス及びリニューアル



空調設備



データセンター冷却設備

株式会社中国パワーシステム

保守サービス

中国地区における電力会社向け総合代理店

● 事業内容・特徴

1988年の設立以来、電力インフラ分野において、電力供給を支える電気設備機器の販売及びアフターサービスを通じて、設備の安定稼働と長期的な信頼性の確保に貢献し、安定したエネルギー社会の実現を支えています。

● 主要製品・サービス

火力・水力発電設備、受変電・配電設備、制御システム 等



ガスタービン発電設備

株式会社西日本パワーシステム

保守サービス

九州地区における水力発電所向け代理店

● 事業内容・特徴

2019年の設立以来、九州地区の水力発電所において、特別高圧・高圧を含む各種電力設備を中心としたアフターサービスを提供し、設備の長期的な信頼性の維持・向上に貢献しています。

● 主要製品・サービス

水力発電設備、受変電・配電設備、制御システム 等



水力（揚水）発電所

サステナビリティに関する考え方及び取り組み

サステナビリティ方針

八洲電機グループは、経営理念、経営ビジョンに基づき、社会課題の解決に取組み、持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営を推進します。

- 1 環境に配慮した事業推進
- 2 環境問題への取組み
- 3 個人の尊重
- 4 ガバナンスの強化
- 5 情報公開の推進
- 6 目標の設定

ガバナンス

代表取締役社長を委員長としたサステナビリティ委員会を設置しており、上席執行役員、社外取締役、関係部門責任者及びグループ会社社長で構成しております。同委員会は、定期的に開催し全社的なサステナビリティへの取組みを推進いたします。

リスク管理

サステナビリティ委員会において、気候関連のリスク及び機会が八洲電機グループの事業に与える影響を整理し、事業におけるリスクを把握・認識しております。同委員会では、全社的なリスク管理推進にかかわる課題・対応策の立案・承認を行い、連結ベースでの評価・モニタリングを実施しております。

環境活動について

植樹活動 企業の森「八洲みらいの森 ～創立100周年へ成長の木跡～」

当社は、地域社会・自然環境と共生する持続可能な社会の実現に向けた取組みを行っており、創立80周年記念事業の一環として、東京都及び公益財団法人東京都農林水産振興財団が推進する「花粉の少ない森づくり運動／企業の森」事業に賛同し、寄附をいたしました。森林所有者、公益財団法人東京都農林水産振興財団、八洲電機株式会社の三者にて森林整備に関する協定を締結いたしました。



- 名称 「八洲みらいの森」
- 協定区域 東京都青梅市小曾木地内
- 締結日 2026年2月5日(木)
- 締結期間 2025年度～2035年度(10年間)

「企業の森」事業とは

多摩地域で花粉を多く発生させるスギ・ヒノキを伐採し、花粉の少ない樹種へ植え替えることで「花粉の少ない森づくり」を進める事業です。森林所有者・協賛企業・(公財)東京都農林水産振興財団の三者が協力し、10年間にわたり森林整備に取組み、都民の生活環境の改善に貢献することが目的です。



(公財)東京都農林水産振興財団 寺崎理事長と清宮社長

地域貢献 企業版ふるさと納税

内閣府が推進する地方創生プロジェクトの趣旨に賛同し、「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」を通じて、自治体の重点事業を支援するため、広島市・倉敷市・福岡市・大分市の4自治体へ総額4,000万円を寄附いたしました。各自治体が実施する対象事業を通じて、地方自治体の地域創生に貢献してまいります。

清掃活動

よりよい地域社会の実現を目的として、各自治体が主催する清掃ボランティア活動に参加しております。今後も様々な環境保全・社会貢献活動を通して地域に貢献してまいります。



清掃活動の様子

公益財団法人 八洲環境技術振興財団

環境技術分野における次世代研究と人材育成への支援

ご挨拶

当財団は、八洲電機株式会社 創立70周年の記念事業の一環として、前理事長 落合憲の「世界が共通して抱える喫緊の課題として地球温暖化、資源枯渇等が顕在化してきた中、このような地球環境問題に取組みたい」という思いで、設立されました。

2014年1月に助成事業として公益認定されて以来、再生可能エネルギーや省エネルギー関連技術をはじめとした環境技術分野の研究活動に対して助成を継続して実施しています。これまでに延べ433名の研究者に対して、総額3億4,000万円を超える支援を行ってきました。

当財団は、2026年度で設立から13年目を迎えます。これからも、前理事長が長年にわたり、築いた信頼と実績を大切に受け継ぎ、「環境技術の発展と社会への貢献」を使命として、より豊かな社会づくりに努めてまいります。

今後も、産業界と学術界の連携をさらに深化させ、次世代を担う研究者の育成と環境技術の発展を支援するとともに、産学協創への橋渡し役として、社会と産業の持続的な成長に寄与してまいります。



公益財団法人
八洲環境技術振興財団
理事長 清宮 茂樹

法人概要

名称	公益財団法人 八洲環境技術振興財団 Yashima Environment Technology Foundation	設立者	八洲電機株式会社
所在地	〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号 八洲ビル	評議員・役員	評議員7名、役員9名(理事7名、監事2名)
		運営体制	評議員会・理事会
		会計年度	毎年4月1日～翌3月31日

事業内容

環境負荷低減、環境保全等、環境技術分野における研究活動への助成事業を行い、企業レベルを超えた研究成果の創出と高度な専門性と見識を備えた次世代研究者の育成支援により、豊かな社会の実現とわが国の産業発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために次の事業を行っています。

- 基礎試験研究・調査に対する助成
- 国際会議・研究発表会等の参加、及びシンポジウム等の開催助成

2025年度 活動報告

2026年3月4日に第一ホテル東京にて「研究開発・調査助成」贈呈式を開催し、助成者、選考委員、財団役員等合わせて約70名が出席しました。

今年度の環境技術分野における研究開発・調査についての助成応募数は、103件(前年度84件)と前年度を上回りました。選考委員会での厳選なる選考により、47件の助成先が決定し、助成者には助成金(1件100万円)を贈呈しました。

1. 研究開発・調査助成 47件／助成額 4,700万円

2. 国際会議・研究発表会等の参加、及びシンポジウム等の開催への助成 10件／助成額 196.8万円

※2013年発足以来の助成累計 433件／助成額 3億4,972万円



贈呈書 授与



交流会の様子



財団役員と助成者の皆様



Human Resources

人財育成及び社内環境整備に関する方針について

当社の事業は、お客さまと取引先に対して付加価値を提供することで成立しており、その付加価値はすべて当社で働く人財に由来しています。人財の育成は当社の持続的成長に不可欠であるとの認識のもと、以下の方針を策定して能力開発に関するプログラムを運用するとともに、社内環境を整備します。

方針について

● 人財育成及び社内環境整備に関する方針

- ① 当社人財に求められるスキルを整理し、職種別・階層別にプロットしたマトリックスをもとに、研修プログラムを確定し、実行します。その運用は、人財委員会において監督します。
- ② 多様性の確保については、まず女性の採用・登用を先行して進め、豊かな発想に基づいて事業を発展させるとともに、中途及びシニア採用を通じて多様な技能・経験を確保しその伝承に努めます。
- ③ 社員はその従事する業務のプロフェッショナルであるから、労働時間と場所についてはその自主性を重んじる「柔軟な働き方」を原則とし、関係する制度及び環境を整備します。

● 2025年度の主な人財投資

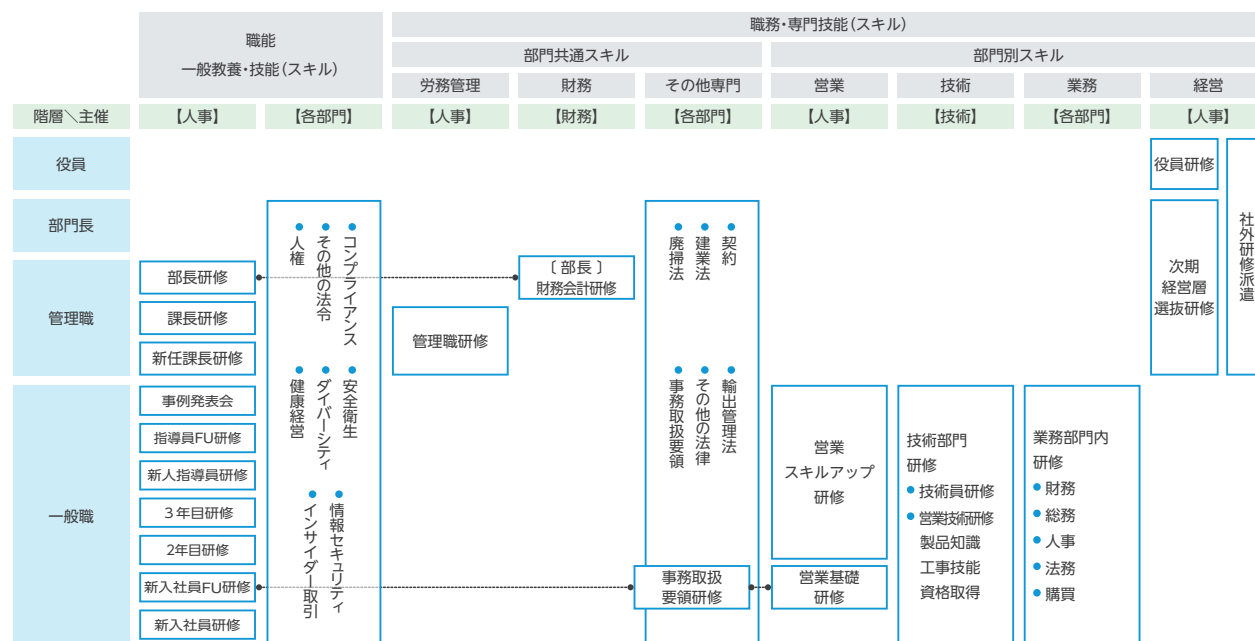
2025年度の連結ベースにおける一人当たり研修費用は53,000円となりました。

2026年度からの中期経営計画(3ヵ年)においては、人財投資を一層強化し、人財価値の向上を図ってまいります。

また、従業員一人ひとりの主体的なキャリア形成を支援するため、自己選択型学習の充実・支援に取組み、個々の志向や専門性に応じた能力開発を促進してまいります。

選抜研修 (経営幹部育成)	次世代幹部育成を目的に、人財委員会選抜社員7名を外部研修へ派遣し、経営戦略立案力・意思決定力の向上を図りました。
役員研修	上席執行役員・執行役員・グループ会社役員20名を対象に、企業価値向上に向けて資本コスト意識とリスク対応力の強化を図りました。
部長研修	グループ会社を含む部長層51名を対象に、事業成長を担う中核人財として営業戦略と付加価値創出力の向上を図りました。
管理職 ハラスメント研修	グループ会社を含む管理職264名を対象に、健全な職場環境の構築に向けた知識・対応力の習得を図りました。

八洲電機 教育体系図



Diversity & Inclusion

「ダイバーシティ&インクルージョン」について

当社のダイバーシティ&インクルージョンは、社員の数だけ存在する多様性が尊重され、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場づくりを目指しています。

柔軟な働き方の推進

柔軟かつ効率的に働ける職場環境の実現を目指し、以下の制度を整備しています。

<制度・しくみ>

ワークライフバランス

- 所定休日、年末年始休日の充実
- 年次有給休暇の付与日と繰り越し
- 積立年休制度
(特定事由での未消化年休を翌々年度に繰り越せる)
- 積立年休制度取得事由の柔軟化
(子の看護…小学校6年生終了の年度末まで)
- 育児時短勤務期間延長
(小学校6年生終了の年度末まで)
- ジョブリターン制度
- 配偶者出産特別休暇(1ヵ月以内の5日取得)

環境整備

- モバイルPC+スマートフォンの支給
- フリーアドレス
- サテライトオフィス

長時間労働の是正

- 全館20:30完全消灯
- 勤務間インターバル制度

柔軟な働き方

- スーパーフレックスタイム制度
- 直行直帰
- 在宅勤務

キャリア形成

- 総合職への転換推奨
- キャリアチェンジ研修の実施
- 育児休業早期繰上げ手当

ダイバーシティの推進

女性活躍推進

女性がさらに活躍できる職場環境を整備するため、以下の行動計画を推進しています。

【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画】

期 間	2026年4月1日～2030年3月31日(4年間)
目標1	女性管理職候補育成並びに女性社員の能力開発及びキャリアアップ支援を目的に、異業種交流が可能で、視野や価値観を広げられる外部研修へ、4年間で20%以上派遣する
目標2	男性の育児休業取得日数を平均14日以上とする

- 女性社員の育成として、以下の研修を実施しました。
 - 女性リーダー育成研修(4名)
 - 総合職への職種転換4年目 キャリアチェンジレベルアップ研修(8名)
 - 総合職への職種転換者対象 キャリアチェンジ研修(3名)
- グループ会社を含む従業員を対象に、アンコンシャス・バイアス研修を実施しました(754名)。
- 男性育児休業取得日数 平均13日(2021～2025年)

次世代育成支援推進

社員が仕事と子育てを両立できる環境を整え、すべての社員にとって働きやすい職場づくりを推進します。全社員が働きやすい環境をつくることによって、これにより、社員一人ひとりがその能力を最大限に発揮できるよう、本行動計画を着実に実行していきます。

【次世代法に基づく一般事業主行動計画】

期 間	2025年4月1日～2030年3月31日(5年間)
目標1	男性社員の育児休業または育児目的の特別休暇の取得率を100%とする
目標2	休暇取得事由の柔軟化等、育児に関わる制度の見直しを行う

- 男性育児休業取得率 平均31.7%(2021～2025年)
- 男性特別休暇(配偶者出産)取得率 平均53.7%(2021～2025年)



Health Management

健康経営について

当社では、これまで従業員と家族の健康保持・増進のため、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策等の各種施策に取り組んでまいりました。より一層この取組みを強化するとともに「働き方改革」や「ダイバーシティマネジメント」と連携しながら「健康経営」を推進するため、「八洲グループ健康経営宣言」を制定し、以下の重点施策に取り組んでまいります。

健康経営宣言

当社グループは、「社員と社会に信用・信頼される会社」「社員と社会に愛される会社」「社員が協力・協調し、社会に貢献する会社」（「信・愛・和」）を経営理念に、経営ビジョンである「クオリティの高いエンジニアリング力を通じ社会に貢献するエクセレントカンパニーとしてサステナブルな未来を創造する」ため、従業員が健康であること、そして健康的に働くことが、重要な経営課題であると考えています。従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、その先にある社会に貢献することを宣言します。

健康経営の取組み



健康経営優良法人2026認定

経済産業省と日本健康会議が選定する健康経営優良法人に2019年～2026年と8年連続で認定されました。



スポーツエールカンパニー2026ブロンズ認定

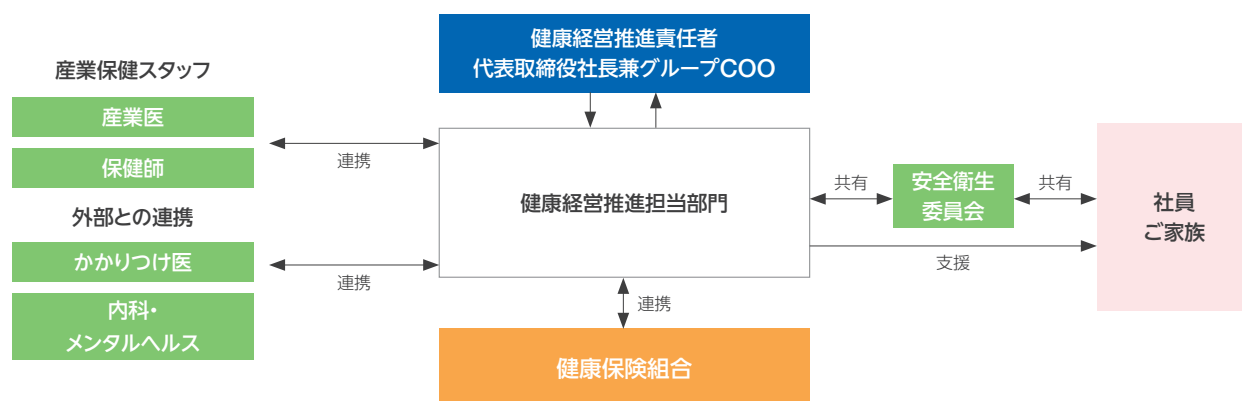
スポーツ庁より、健康増進に向けたスポーツ活動の促進への積極的な取組みが評価され、「スポーツエールカンパニー2026ブロンズ」に認定されました。2021年～2026年と6年連続で認定されました。



健康優良企業「金」認定

健康企業宣言東京推進協議会より、健康優良企業「金」に2020年～2026年と7年連続で認定されました。

健康経営推進体制



重点施策

- 職場の健康** ① 年間総労働時間のひとりあたりの更なる減少 ② 有給休暇取得率の更なる向上
- こころの健康** ① 産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進
- からだの健康** ① 健康診断受診の推進 ② 運動機会の増進（運動習慣率の向上） ③ 喫煙者の減少

重点施策の実績 → P26 非財務ハイライトをご覧ください。

コーポレート・ガバナンスに関する報告書は右記の当社HPよりご覧ください。→ <https://www.yashimadenki.co.jp/ir/policy/governance.html>



Corporate Governance

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、当社グループの持続的な成長と長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、この方針を支えるコーポレート・ガバナンスの重要性を充分認識し、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めております。

当社は、実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制として権限と責任を明確にした意思決定とこれを監視、評価する体制を整備し、より良いコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組みます。

コーポレート・ガバナンスについて

当社は、株主価値の持続的な向上を図り、ステークホルダーに対する社会的な責任を果たしていくために、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでおります。また、「透明性の確保」「意思決定の迅速化」「企業倫理・法令等遵守体制の充実」「内部統制の強化」の他に、「情報開示」「説明責任」等の諸施策の取組みを強化し、さらなるコーポレート・ガバナンスの進化に努めてまいります。

ガバナンス体制図は下記の当社HPよりご確認ください。

→ <https://www.yashimadenki.co.jp/ir/policy/governance.html>

内部統制システムの整備と体制

業務執行を適正かつ健全に行うために、取締役会が実効性ある内部統制システムの構築と法令等遵守の体制を確立しています。また、監査等委員会は内部統制システムの有効性と機能を監査しています。

代表取締役社長直轄で、業務執行部門から独立した監査担当部署を本社内に設置し、グループ会社も含めて各部門に対して内部監査を実施し、内部統制の有効性を評価・確保しています。

コンプライアンスへの取組み

当社グループは、全従業員が事業活動において遵守しなければならない事項について「行動規範」を定めております。コンプライアンス教育、ケーススタディを掲載したコンプライアンス・ニュースを配信するとともに、2023年度より新たに5月及び11月を「コンプライアンス月間」と定めて、コンプライアンス浸透度調査を実施し、全従業員への周知徹底に取り組んでいます。

「行動規範」に反する行為があること又はそのおそれがある行為を従業員が知り得た場合には、まず上長に報告・相談することを基本としております。このような報告・相談が難しい場合や適さない場合にも対応するため、社外窓口を含めた計3カ所の「コンプライアンス相談窓口（ホットライン）」を設置し、通報・相談しやすい環境を整備しております。

マネジメントについて

当社取締役は、客観性及び透明性を高めるために指名・報酬諮問委員会の審議及び助言・提言を踏まえ、優れた人格、見識、能力及び豊富な経験とともに高い倫理観を有しており、的確かつ迅速な意思決定が実施できる者を、取締役会により総合的に判断したうえで指名しております。そのメンバーについては、経営、営業、技術、財務・会計、法律等の専門性や異なるバックグラウンド・経験等を考慮し、取締役会全体としての多様性及びバランスが確保されるよう努めております。

当社取締役のスキル・マトリックス

	企業経営	財務・会計	法務 ガバナンス コンプライアンス	問題解決 ・ 提案型営業	エンジニアリングによる ソリューション提供	人事・労務 人材開発	IR
太田 明夫	●	●	●	●	●	●	●
清宮 茂樹	●	●	●	●	●	●	●
松崎 正	●	●	●	●	●	●	●
織田 富造		●	●				●
岡谷 洋介			●			●	
宮 直仁		●	●				
山内 豊		●	●				
岩瀬 淳一	●		●		●		
上石 奈緒		●	●				

財務データ

(年度)	2021	2022	2023	2024	2025
損益の状況(百万円)					
売上高	60,038	60,270	64,862	66,075	74,569
売上原価	48,617	47,962	52,058	51,384	56,415
売上総利益	11,421	12,307	12,803	14,690	18,153
販売費及び一般管理費	9,297	9,513	8,908	9,437	10,864
営業利益	2,123	2,794	3,894	5,253	7,289
経常利益	2,251	2,929	4,019	5,373	7,437
親会社株主に帰属する当期純利益	1,527	1,916	2,657	4,011	5,145
財政状態(百万円)					
資産	50,934	58,738	60,430	64,141	72,871
負債	27,888	34,346	32,931	33,311	36,528
純資産	23,046	24,392	27,498	30,830	36,342
収益性指標					
売上総利益率(%)	19.0	20.4	19.7	22.2	24.3
営業利益率(%)	3.5	4.6	6.0	8.0	9.8
自己資本利益率(ROE)(%)	6.9	8.1	10.3	13.9	15.4
総資産経常利益率(ROA)(%)	4.3	5.3	6.7	8.6	10.9
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.9	1.1	1.2	1.1	1.7
1株当たり指標(円)					
1株当たり当期純利益(EPS)	71.6	90.1	125.2	188.7	241.6
1株当たり純資産(BPS)	1,070.9	1,141.8	1,284.5	1,439.5	1,686.0
1株当たり年間配当金	22	25	28	36	45
設備投資・減価償却(百万円)					
設備投資額	1,667	169	229	1,871	1,005
減価償却額	438	451	442	464	602
キャッシュ・フローの状況(百万円)					
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,721	2,916	809	3,484	6,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 759	△ 1,487	848	10	△ 3,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 298	△ 663	△ 848	△ 763	△ 818
フリー・キャッシュ・フロー	961	1,428	1,657	3,495	2,378
現金及び現金同等物の期末残高	10,567	11,332	12,142	14,874	16,434
株主還元					
配当性向(%)	30.7	27.7	22.4	19.1	18.6

非財務ハイライト

(年度)	2021	2022	2023	2024	2025
人事関連					
連結従業員数(人)	990	980	985	1,026	1,062
単体従業員数(人) ※以下は単体での指標	507	505	513	508	547
男性	405	401	401	394	425
女性	102	104	112	114	122
女性従業員比率(%)	22.1	22.6	24.3	25.3	25.1
女性管理職比率(%)	6.6	8.0	8.5	9.9	9.2
新卒採用人数(人)					
男性	8	9	9	8	13
女性	2	4	6	6	3
新卒採用者に占める女性比率(%)	20	30	40	42	18
キャリア採用人数(人)					
男性	1	1	4	5	8
女性	2	0	6	1	2
離職率(%) ※正社員のみ自己都合退職者(定年、逝去除く)	2.35	2.34	3.94	1.08	1.08
平均勤続年数(年)					
男性	18.5	19.0	19.2	18.9	18.3
女性	12.7	14.0	12.9	13.5	13.9
平均年収(円) ※2025より正社員のみ	6,793,187	7,156,261	7,630,012	7,983,041	8,238,551
月平均残業時間(法定外)(時間)	17.24	18.80	17.86	17.23	9.77
有給休暇取得日数(日)	11.45	11.98	12.95	12.35	11.72
育児休業取得者数(人)					
男性	2	1	3	7	8
女性	1	4	3	2	4
育児休業取得率(%)					
男性 ※当社独自の育児休暇(特別休暇)を含む	57.1	91.7	83.3	87.5	72.7
女性	100	100	100	100	100
育児休業復職率(%)	100	100	100	100	100
育児短時間勤務利用者数(人)	9	9	9	6	7
障がい者雇用率(%)	3.06	3.24	3.48	3.48	2.52

健康経営重点施策の実績

(年度)		2021	2022	2023	2024	2025
職場の健康	年間総労働時間(時間/年)	1,935	1,875	1,911	1,926	1,911
	有給休暇取得率(%)	63.0	65.8	64.6	65.2	64.5
こころの健康	ストレスチェック回答率(%)	96.0	96.0	96.9	97.1	98.5
	産業医・保健師面談回数(回/月)	1	1	1	4	4
からだの健康	健康診断実施率(%)	100	100	100	100	100
	運動習慣率(%)	23.9	26.1	26.6	29.6	—
	喫煙率(%)	30.7	29.1	27.4	25.3	—